

第13回 空家等対策協議会 議事要旨	
日 時	令和2年11月18日（金）10時00分～12時00分
開催場所	横浜市庁舎 18階 なみき19会議室（Web会議形式）
出席者 （敬称略）	齊藤 広子（横浜市立大学 教授） 矢田 尚子（日本大学 准教授） 田中 恒司（神奈川県弁護士会） 今戸 晴美（神奈川県司法書士会 法務総合事業部 空家問題対策委員会 委員長） 岡田 日出則（公益社団法人 神奈川県宅地建物取引業協会 副会長） 志村 孝次（公益社団法人 全日本不動産協会 神奈川県本部 横浜支部） 嶋田 幸子（神奈川県土地家屋調査士会） 佐藤 建二（一般社団法人 横浜市建築士事務所協会 理事長） 池田 誠司（社会福祉法人 横浜市社会福祉協議会 地域活動部長） 谷口 和豊（特定非営利活動法人 横浜プランナーズネットワーク） 馬場 佳子（一般社団法人 神奈川県不動産鑑定士協会） 新井 通夫（東京地方税理士会 常務理事） 中川 理夫（横浜市建築局長）【代理】
欠席者	加藤 幹夫（神奈川県行政書士会）
報告事項	(1) 第2期横浜市空家等対策計画の取組状況について ア 青葉区及び戸塚区 空家無料相談会の報告書 イ 「空家の総合案内窓口」の相談状況 ウ 「空家の借り方スキルアップ研修」の開催 エ 特定空家等に対する法的措置等の実施件数 オ 管理不全な空家への相談員派遣について (2) 各委員による取組の情報共有 (3) 空き家活用の総合的な支援策の検討について (4) （仮称）横浜市空家等の適切な管理に関する条例案の骨子に係る市民意見募集（パブリックコメント）の実施結果等について
議事要旨	(1) 第2期横浜市空家等対策計画の取組状況について ・相談会とセミナーの部屋が一部屋になり声が混在していたため、実施方法について工夫が必要。 ・空家無料相談会は三密を防ぐため、会場の定員に対して募集人数を半分以下にするとともに、換気を徹底した。併せて、シルバー人材センターに定期的な消毒作業を委託した。 ・地域まちづくり支援制度活用研修（空家の借り方スキルアップ研修）は、昨年と開催方法を変更していて、書面開催となり、意見交換会は定員を絞って開催としている。 ・専門相談員の派遣を行った事例については、市役所・区役所がしっかり意向をヒアリングしていたので、ゴールを見つけやすかった。今後も力を入れて取り組み、成功まで至らなくても所有者の動機になれば良いと思う。 ・専門相談員の派遣を行った後、市のフォローや市と専門家の連携を継続した方がいい。 (2) 各委員による取組の情報共有 ・除却工事の相談について、総合案内窓口から横浜市建築士事務所協会に連絡が増えているが、除却の知識不足等、ワンストップ機能がうまくできていない。 ・全日本不動産協会では、地域を6つのブロックに分けて、チームで解決していく体制を整えている。 ・神奈川県不動産鑑定士協会としての取り組みでないが、業者、企業から流通に乗らない

不動産（瑕疵物件等）を取得したいという相談が多くなった。今後、流通に乗らない不動産について、公平性を保ちつつ流通に乗る仕組みがあれば良いと思う。瑕疵物件の診断も同時に行うとより良い。

- ・はまっこ郊外暮らし検討会について、京急電鉄・横浜市・横浜市大で空家の利活用についてオンラインで検討している。アイデアコンペや居住者アンケート等を行い、全面オンラインで進めていく事を考えている。

- ・地域の活動が、新型コロナウイルス感染症の影響がほぼ止まってしまった。理由は二点あり、感染拡大予防で活動中止、そして今後の活動継続等について話し合う拠点そのものが確保できない点である。

- ・社協の事業として、生活困窮者への貸付を行っているが、ひとり親家庭の生活環境が厳しいと感じる。仕事が減り、食費と家賃負担が大変な家庭が多い。居住支援も空家活用と併せて検討できればと思う。

(3) 空き家活用の総合的な支援策の検討について

- ・インターネット環境は、改修費の補助対象工事に含まれているが、ランニングコストは含まれていない。活動費の助成は別事業で行う事を想定している。

- ・空家リストは行政内部のみで考えている。募集空家の周辺地域への影響等・バランスを見ながら検討する。

(4) (仮称)横浜市空家等の適切な管理に関する条例案の骨子に係る市民意見募集（パブリックコメント）の実施結果等について

- ・骨子の太筋について変更はない。

- ・規定よりも標識を早く出すことは、市民の安心につながると思う。写真や地域の意見を通知する等、所有者への情報の共有は継続すると良い。

- ・局所的な危険がある場合も指導を進めていく。

- ・条例の施行状況については、空家対策協議会で共有していく。